

甲状腺の手術を受けられる患者さんへ

様

この予定表はおおよその目安です。患者さんの状態や治療の経過等により、予定が変更になったり入院期間が前後することがありますのでご了承ください。わからないことがありましたら、遠慮なくスタッフにご相談ください。

担当医

説明看護師

月日	/	/	/	/	/	/	
経過	入院日	手術前	手術後	術後1日目	術後2日目	術後3～5日目	術後6日目 退院日
目標	手術を受ける準備ができる。		痛みがコントロールできている。 創部に問題がない。 呼吸状態が安定している。 安静を守ることができている。	食事が摂取できる。			退院後の生活の注意点を知っている。
処置	弾性ストッキングのサイズを測ります。	手術用のバンドをつけます。 弾性ストッキングを履きます。 貴金属類や入れ歯などははずします。 看護師と手術室に行きます。	適宜、血圧、脈拍、体温を測ります。 酸素吸入をします。 心電図モニターを装着します。 創部に管が入ることがあります。	診察（午前） 歩行ができたなら弾性ストッキングを脱ぎます。	創部の管は術後2～3日に抜く予定ですが、管からの排液量によって抜く日は前後します。 		創部のテープを剥がさずに、退院になります。 創部の状態によっては、茶テープ（商品名：マイクロポア）で保護します。
点滴			点滴をします。 	日中に点滴が一時終了になります。	食事がとれていれば、点滴は終了です。		
お薬	普段飲んでいる薬を確認しますので、お薬手帳を持参し、看護師にお渡しください。	医師が指示したお薬のみ内服します。 		必要に応じて、痛み止めの飲み薬が処方されます。持参薬の内服については、医師から指示があります。			
検査				必要に応じて、検査（採血やレントゲン検査など）行う場合があります。			
食事	夕食まで食事ができます。食事と一緒に術前飲料水が出ます。21時以降は何も食べないでください。	朝まで術前飲料水が飲めます。 <input type="checkbox"/> 午前手術 ⇒ 朝7時まで <input type="checkbox"/> 午後手術 ⇒ 朝9時まで 	意識がはっきりしていたら、うがいができます。 術後4時間後から水分がとれるようになります。 	軟らかめの食事から始めます。 			
活動安静度	制限はありません。		術後4時間はベッド上で、なるべく仰向けの状態で過ごします。それ以降は、看護師付き添いのもとトイレまで歩くことができます。 	制限はありません。			
排泄	制限はありません。		手術中に尿の管が入り、自然に尿が排出されます。歩行ができたなら尿の管を抜きます。	制限はありません。			
清潔	シャワーに入ります。			創部に管が入っている時は、下半身のみシャワー浴をすることができます。出血予防のため、お湯は十分ぬるめにしてください。	創部の管が抜けたら、創部を濡らさないようにして全身シャワー浴をすることができます。		
説明指導	病棟の案内、入院生活のオリエンテーションをします。入院や手術に必要な書類の確認をします。	ご家族は（ ）までに病室にお越しください。手術中は4階ファミリールームでお待ちください。	手術後に医師からご家族へ手術結果の説明があります。 痛みや吐き気がある時は、我慢せずに看護師にお知らせください。 呼吸困難、手指や口唇にしびれがある場合は、速やかに看護師に伝えてください。 歩行や移動をする際は、創部の管を袋に入れてお持ちください。				診察後に退院になります。退院時の書類をお渡ししてから手続きになります。次回外来予約と退院の手続きについて説明します。



退院後は安静の制限はありませんが、激しい運動は避けてください。
指導された創部の処置をしてください。退院後3ヵ月程度は、創部を茶テープで保護してください。